

令和7年6月分（3件）

①【高学年の学童利用拡大のお願い】

内容	子どもが北条小学校に在籍しています。 共働き家庭も増え、学童の利用で現在小学校4年生以上の高学年の利用が非常に困難な状態が長く続いています。 今後合併等もありますが、どの子も(高学年の子も)利用可能にしていきたいです。 【R7.6.2受理】
回答	市長への手紙を拝見いたしました。 お子様の通う北条小学校の敷地内にあります「北条学童クラブ」の定員は、現在130人で運営しております。 学童クラブは、保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学生の児童に、放課後の生活の場を提供するもので、共働き家庭の増加に伴う保育ニーズに応えるため、これまで定員の増加やサービスの拡充を行ってきており、「北条学童クラブ」に関しては、公設化した平成27年度の60人から平成28年度は90人、平成29年度は120人、更に平成30年度は130人となり、現在に至っています。また、夏季休業期間に限り、特設の学童クラブを開所し、さらに35人の受け入れを行っております。 定員については、国の基準が、「児童一人当たりの専用スペースがおおむね1.65平方メートル以上でなければならない」とされているため、この基準の範囲内において、可能な限りの受入れを行っているところです。 入所審査の際には、保育の必要性のある低学年児童を優先して入所の決定を行っているため、年度当初には、高学年になるにつれて、お子様が入所ができずに、待機となるケースがございます。 今後は、令和9年度の学校統合による児童数の増加に合わせて、スペースの確保を行い、学童クラブの定員を増加していく予定でありますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。 このたびは貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 【R7.6.9回答】

②【消防団員の準中型自動車免許証取得費用に係る補助について】

内容	多くの消防ポンプ車は3.5トン以上の車両となり、準中型自動車免許が必要です。 館山市も総務省の補助制度を活用して、若い団員がこの免許証を取得する際の費用を補助すべきと思います。 また、消防団員の高齢化・団員の減少をどのようにお考えかもお聞かせ願いたく、宜しくお願いいたします。 【R7.6.9受理】
回答	市長への手紙を拝見いたしました。 まず、消防団員が準中型自動車免許を取得する際の費用については、全国的に課題意識が高まっているものと承知しています。令和8年4月からは、準中型自動車にA T免許が導入され、既に普通免許証（3.5 t 未満）を所持している方の講習時間が短縮されることから、館山市としても関心を持っており、今年度、県内で制度を設けている全13団体を対象に調査を行っているところです。今後も、他団体の取り組みや国の支援制度をしっかりと把握しながら、消防団員の免許取得状況も踏まえ、対策を検討します。 次に、団員の高齢化や減少についてですが、館山市はこれまでも消防団の装備や施設の充実、報酬の改定など、活動環境の改善に取り組んできました。しかし、人口減少に伴い、消防団員も減少傾向にあります。引き続き対応すべき課題だと認識していますので、今後も新入団員の確保に向け、取り組みを進めます。 消防団員の皆様には、生業ご多忙の中、火災や自然災害に対する警戒巡視、行方不明者の捜索など、市民の身体、生命及び財産を守る大変重要な役割を担っていただき、大変感謝しております。館山市としては、今後も消防団の活動を支援しつつ、消防・防災行政の充実強化に取り組めます。 この度は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 【R7.6.19回答】

③【野外でバスケットボールが出来る場所】

内容	初めまして 私は普段、小学校の体育館などで大人と子供達とバスケットをやっている40代です。 今、館山市では気軽に外でバスケットが出来る場所がなく練習するにしても親子や子供達が遊ぶ場所としてありません。 昔の話になりますが自分達が小学校の頃は色々な地区事にバスケットゴールがありそこで友達とよく遊び、試合を行っていました。 先日、南房総市和田町に出来たなみはらくじらパークという公園に遊びに家族で行った所、たくさんの遊具がありその中にもバスケットコートがあり、非常に公園内は家族や子供達が賑わっていました。 そこまでの公園は求めています、バスケットボールがみんなで出来、遊具もあって遊べ集まれるような公園が館山市にもほしいと思い、今回手紙を書かせて頂きました。 【R7.6.11受理】
----	--

回答	この度は「市長への手紙」をくださりありがとうございます。 野外でバスケットボールが出来る場所についてですが、館山市内の公園や児童遊園ではそのような活動をする場所がなく、ご不便をおかけしております。 今年の4月1日にオープンしました南房総市の「なみはらくじらパーク」は広大な敷地を有し、バスケットボールのハーフコートをはじめ遊具等の整備も大変充実しており、公園整備のお手本になるものだと思っております。 現在、館山市では、公園や児童遊園について、まずは遊具の整備・充実に取り組んでいるところであり、バスケットボールが出来る場所の整備までは難しいものと考えています。 また、少子化に伴う小中学校の学校再編にあわせて、地域の児童遊園のあり方も課題となっていますが、今後も大人と子どもが楽しんで遊ぶことができる環境の充実に取り組んでまいります。 この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 【R7.6.30回答】
-----------	---